

重 要

がん検診の結果、**精密検査が必要**と判定されたあなたへ

あなたは**大腸がんの疑いがある**と判定されました

便潜血検査において、**がんの可能性のある異常**が認められました

男性のがんのうち

2番目に多い死因が**大腸がん**です

便に血がまじったのは痔のせいだと思い込まないで！

自覚症状がなくても、必ず精密検査を受けてください。

部位別がん死亡数
男性(2024年)

第1位 肺がん

第2位 **大腸がん**

第3位 胃がん

第4位 膵臓がん

第5位 肝臓がん

資料：令和6年人口動態調査



早期発見^{※1}すれば**9割以上**^{※2}が治ります^{※3}

※1：ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～Ⅳ期に区分した病期分類（TNM分類）におけるⅠ期を意味します（Ⅳ期に近いほどがんが進行している状態）。

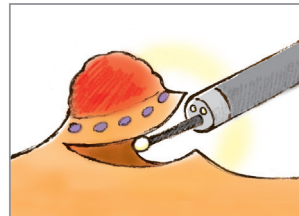
※2：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル（純生存率）は91.1%。

※3：ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。

検査とがん治療が同時にできます

早期のがんやポリープで見つかった場合、それらを内視鏡で取ることもできます。

異常が認められた方のうち**3人に1人**が、がんやポリープが見つかっています。



速やかに、精密検査を受けてください

精密検査を受ける医療機関については、がん検診を受けた医療機関や市町村にお問い合わせください。

お問い合わせ先：湯沢市健康対策課 0183-56-8020